

参考

令和 × 年 ×× 月 ×× 日

(施設名) □□□□保育園

(代表者名) □□□ □□ 様

(医療機関名) ○○△△病院

(医師名) ○○ △△△

(所在地) 京都市○○区△△町××番地

(連絡先) (075) XXX-XXXX

医療的ケアに関する指示書

京都市医療的ケアを必要とする児童に係る保育利用要綱第8条の規定により、対象児童に対する医療的ケアについて指示書を提出します。

児 童 名	○○○ ○○	生年月日	令和×年×月×日生
診断名	○○○○、○○症候群、△△術後		
医療的ケア の 内 容	実施	指示内容及び配慮事項	
酸素吸入	☒ 有 ☐ 無	流量 (0. 25 ℓ/分) ☐ 経鼻 ☒ 気管内 平常時 SpO2 (98~100% ※ 午睡時 0.5L/分、適宜 2 L/分まで量可。)	
気管切開	☒ 有 ☐ 無	カニューレ製品名 (●●カニューレ (カフあり)) サイズ (● mm) 交換頻度 1 回/2 週	
人工呼吸器	☒ 有 ☐ 無	種 類 ☐ TPPV ☒ NPPV (☐ 鼻 ☒ 鼻・口) メーカー・機種 (●●●●●●) 業者名 (●●●●●●) モード (●●●●●●) 換気回数 (f) : ●● 回/分 酸素濃度 (Fio2) : ●● 離 脱 ☐ 不可 ☒ 可 (60 分) ※ 移動時等適宜離脱可。	
吸 引	☒ 有 ☐ 無	部 位 ☒ 口腔内 ☒ 鼻腔内 ☐ 気管内 回 数 (約 適宜 回/日) カテーテルサイズ ☒ 8 Fr ☐ 10 Fr ☐ 12 Fr	
経管栄養	☒ 有 ☐ 無	種 類 ☐ 経鼻 ☒ 胃ろう ☐ 腸ろう 製品名 (●●●●●●●●) カテーテルサイズ (● Fr) 挿入の長さ (cm) 注 入 方 法 (☐ 滴下 ☒ シリンジ ポンプ (ml/h) 注 入 回 数 (2 回/時間帯 : ●時、●時頃 ※ 昼食、おやつ時) 注 入 内 容 (ペースト食 100g のうち経口摂取できなかった分を注入。 その他適宜水分補給。内容等は保護者に準じて実施可。)	
導 尿	☒ 有 ☐ 無	☒ 間欠的 ☐ 持続的 回 数 (約 2 回/日) 時間帯 (●時、●時頃) カテーテル製品名 (●●●●●●●●) カテーテルサイズ (Fr) (● Fr)	

(裏面に続く)

医療的ケア の 内 容	実施	指示内容及び配慮事項
血糖測定	☒ 有 ☐ 無	方 法 <u>SMBG</u> ・ <u>CGM</u> ・FGM／機器等：●●●●●●●●) 時間帯 (CGM：1 時間毎、食前、低血糖・高血糖が疑われる時、SMBG：必要時)
インスリン 投 与	☒ 有 ☐ 無	薬剤名 (●●●●●●●●●●) 一回量 (1 単位/回) ☒ 食前 ☐ 食後 持続投与 (メーカー名： ●●●●●●●●●●) 薬剤名 (●●●●●●●●●● ※ ポンプ不良時、ペン打ちにて対応)
血糖値対応	☒ 有 ☐ 無	高血糖時 (別紙スケールに基づきポンプにてボラス、30 分様子を見て対応) 低血糖時 (ブドウ糖摂取、ミルク注入にて対応。)
与 薬 (処方箋添付可)	☒ 有 ☐ 無	☒ 内服薬 ☐ 注射薬 ☐ 外用薬 (☒ 座薬 ☒ 浣腸) ☐ その他 () 薬剤名 (別紙参照) 1 回量 () 時間 ()
その他の 医療的ケア		[上記以外で保育時間中に実施が必要なもの、書ききれなかったもの] ※ 詳細記載が必要なもの等の記載欄として、御活用ください。 ・ 浣腸：グリセリン浣腸液 1 2ml (体重×2ml) ・ ガス抜き：ネラトンカテーテル 2 0cm 程度挿入 など
緊 急 時 の 対 応		[発作、酸素飽和度低下、誤嚥、発熱時等に係る対応] ※ 保育中に予想されるものについて、具体的に記載をお願いいたします。 ・ チアノーゼ増強、多呼吸、陥没呼吸、喘鳴出現、SpO₂93%以下：酸素 2 L /分まで増量可 ・ SpO₂90 %以下：酸素 2 L /分まで増量のうえ救急要請。 ・ てんかん発作(5分以内)保護者へ連絡、受診相談 (5分以上)●●●●挿肛、救急搬送 ・ 胃ろうボタン抜去時は、瘻孔部をタオル等で保護して速やかに医療機関受診。 吸引カテーテル挿入は抵抗があれば無理にせずとも可。 ・ 低血糖時はブドウ糖、ミルク等注入にて対応、ポンプ不良時は●●注皮下注射。 ・ 経口摂取不可能時の低血糖については、点鼻粉末剤投与後、救急要請。 など
保育施設 での生活 上の注意 及び配慮 事項並び に活動の 制 限 等		・ 先天性心疾患術後であるが、現時点では特に活動の制限なし。 ・ 気道感染等により嘔吐を誘発しやすく、誤嚥のリスクがあるため、 適宜口鼻腔の吸引を実施のこと。 ・ ●●部圧迫に注意してください。 ・ タンパク除去対応をお願いします。 ・ プール、午睡時以外は●●使用のこと。(装具、補聴器、コルセットなど) ・ 腎ろう留置中です。抜去しないよう注意をお願いします。固定テープを こまめにチェックし、抜去に気付いたら緊急受診してください。 ・ 運動発達、精神発達に伴い、カニューレ抜去の可能性あり。定期的に確認 してください。 など